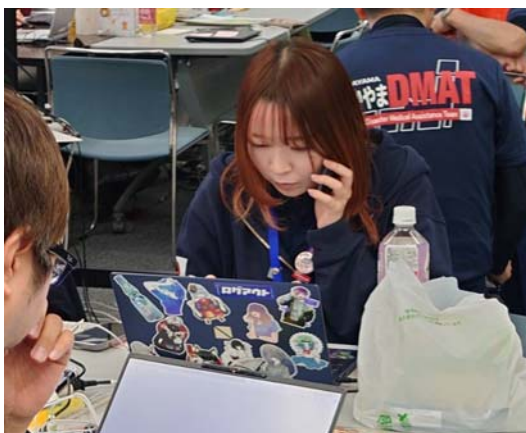


2024年1月 令和6年能登半島地震①



石川県保健医療福祉調整本部（石川県庁）



避難所にて地元薬剤師会と医薬品管理に関する課題についてディスカッション



避難所にて地元薬剤師会と他の支援チームで避難者の服薬管理の役割分担



避難所にて避難者のお薬管理BOXを作成

【活動概要】

2024年1月1日に石川県能登地方を震央とする最大震度7の地震が発生した。石川県内では地震による家屋倒壊や津波浸水により、停電や断水、地域の孤立など甚大な被害を受けた。冬の寒さが厳しい季節であったため能登北部から金沢以南への集団避難が実施されていたが、それにより金沢以南の医療機関や調剤薬局の業務がひっ迫するなど早期の対応が求められる状況であった。当院から派遣された薬剤師の豊山は1月14日～28日と2月11日～19日の間、石川県庁に設置された「石川県保健医療福祉調整本部」にて活動を行った。

地元を離れた被災者とかかりつけの医師をつなぐ活動やひっ迫する地元薬剤師の業務軽減のために業務フローの提案を行ったり、避難所で体調不良者が発生した場合の医療・薬剤提供体制の調査・整備など、災害によって途切れてしまった糸をつなぎ直すような細やかな対応が求められました。南海トラフ地震でも似たような被害が発生することが予想されます。この経験は高知県の災害対応にも活かさなければと強く感じる支援活動でした。（豊山）

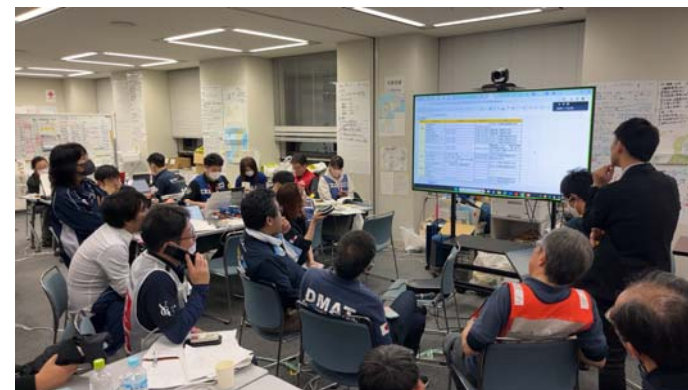
2024年1月 能登半島地震②



【内灘町】液状化した道路



石川県保健医療福祉災害対策本部
(石川県庁)



定時ミーティングの様子
(石川県庁)

【活動概要】

また、森下理学療法士も1月～2月のあいだに2回、石川県庁内に設置された石川県保健医療福祉調整本部に本部要員として派遣されました。

被災地では金沢市に設置された避難所からの搬送や各医療機関への人的支援の調整管理、医薬品や診療に関する調整などを行いました。被災地は道路状況が悪く水や電気などのライフラインの復旧にも時間を要したため、安定した支援を提供することや地元への引継ぎも難しい状況でした。この状況は南海トラフ地震で予想されている高知県の状況にも似ており、今回の経験をもとに職場の対応を検討しなおさねばならないと感じました。(森下)